

I 基本理念

「新たな価値を創造し、ともに確かな未来を切り拓く人づくり」

グローバル化と合わせて、人工知能（AI）やIoT（Internet of Things）といった技術が発展したSociety5.0の時代を生き抜く子どもたちには、多様な他者と協働し、豊かな創造性を備え、常に新たな価値を追求していくことが求められています。

学校教育では、常に子どもたちの声を大切にしながら、誰一人取り残すことのない学びを保障し、すべての子どもたちに、互いを尊重し「対話」を通してよりよいものを創造していこうとする「協働的な学び」に向かう力を育むとともに、ふるさと坂出で生まれ育ったことに愛着と誇りをもち、自分の良さや可能性を見出し、自立と夢の実現にチャレンジし続ける人づくりを目指します。

生涯学習では、人生100年時代を見据え、すべての市民が、歴史や伝統・文化を慈しむとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、生涯を通じて主体的に学び続け、自己の能力を高め、心身ともに健康で活力に満ちた豊かな人生を送ることのできる社会の実現を目指します。

市民一人一人が、持続可能な豊かな社会を創るために、自分事として何ができるかを考え、一步を歩みだすとともに、その学びや実践行動がよきモデルとなり、様々な世代に広がり、つながる社会を通して「ともに確かな未来を切り拓く人づくり」の実現を図ります。

II 基本目標

- 1 生きる力を育む学校教育の推進
- 2 社会総がかりで取り組む教育の推進
- 3 人生100年時代を見据えた生涯学習・社会教育・生涯スポーツの推進、文化・芸術の振興

Ⅲ 基本施策

1 生きる力を育む学校教育の推進

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 人権・同和教育の推進
- (3) 豊かな心、健やかな体の育成
- (4) 多様な教育ニーズへの対応

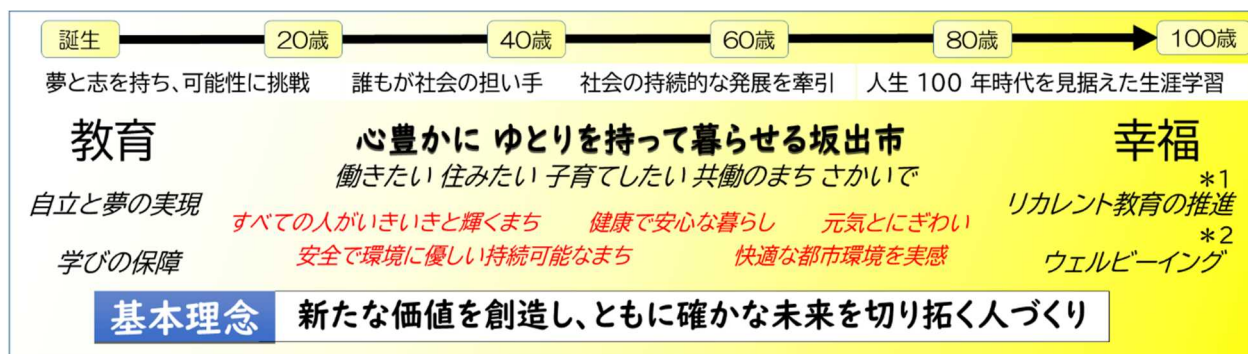
2 社会総がかりで取り組む教育の推進

- (1) 学校と家庭・地域の連携・協働による教育の推進
- (2) 安全・安心な学校づくり
- (3) 学びを支える教育環境の充実

3 人生100年時代を見据えた生涯学習・社会教育・生涯スポーツの推進、文化・芸術の振興

- (1) 生涯学習・社会教育・生涯スポーツの推進
- (2) 文化・芸術の振興、文化財の保護

※ 坂出市 教育大綱の改訂に係る構想図（概要）



基本目標

1 生きる力を育む学校教育の推進

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 人権・同和教育の推進
- (3) 豊かな心、健やかな体の育成
- (4) 多様な教育ニーズへの対応

2 社会総がかりで取り組む教育の推進

- (1) 学校と家庭・地域の連携・協働による教育の推進
- (2) 安全・安心な学校づくり
- (3) 学びを支える教育環境の充実

3 人生100年時代を見据えた生涯学習・社会教育・生涯スポーツの推進、文化・芸術の振興

- (1) 生涯学習・社会教育・生涯スポーツの推進
- (2) 文化・芸術の振興、文化財の保護

*1 リカレント教育：学校教育からいったん離れて社会に出た後も、それぞれの人の必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と教育を繰り返すこと。社会人になってから自分の仕事に関する専門的な知識やスキルを学ぶため、「社会人の学び直し」とも呼ばれている。

*2 ウェルビーイング：身体的・精神的・社会的に満たされた良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。文部科学省「第4期教育振興計画」のコンセプトとして、日本社会に根差したウェルビーイングの向上が示されている。

IV 基本方針

1 生きる力を育む学校教育の推進

(1) 確かな学力の育成

予測困難な社会に対応するためには、知・徳・体の調和のとれた教育を推進し、子どもたちの生きる力を育む必要があります。

幼児教育では、生きる力の基礎を培うために、学びや育ちの連続性を目指した幼児教育に努めます。小・中学校では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」による確かな学力の定着など、「対話」と「協働」を大切にした教育活動を展開します。

また、子どもの発達や学びの連続性を保障するため、就学前と小学校の接続及び小中一貫教育の取組を推進します。

(2) 人権・同和教育の推進

真に人権が尊重される地域社会の実現を目指し、同和教育をはじめ、LGBTQ+やインターネット上での人権侵害など多様化する新たな人権課題の解決に向けて、学校・家庭・地域が連携した教育及び啓発活動・相談体制の充実に努めます。

また、いじめの未然防止や早期発見、早期対応を体系的・組織的に行うとともに、学校や学級で認め合える風土を醸成し、子どもたちが主体的に考え、実践する取組を進めます。

(3) 豊かな心、健やかな体の育成

道徳教育や特別活動、様々な体験・交流活動、生徒指導など、全教育活動を通して、人間性や社会性をはぐくみ、将来自立した生き方に必要な資質・能力を育成し、自己の幸福追求と自己実現を支えます。そのために、児童生徒理解に努め、一人一人の自発性や主体性を尊重し、個性の発見とよさや可能性の伸長、社会的資質・能力の育成を図る発達支持的生徒指導に重点を置いた取組を進めます。

また、健やかでたくましい体づくりのため、生活習慣の確立、学校体育、学校保健、学校給食・食育の充実に取り組みます。

(4) 多様な教育ニーズへの対応

障がいのある児童生徒、不登校児童生徒、日本語指導が必要な児童生徒等、多様な教育ニーズを必要とする子どもたちへの個別最適な学びと共生社会の実現に向けた学びにつながる機会の確保に努めます。

また、すべての子どもたちがそれぞれの多様性を認め合い、互いに高め合う協働的な学びを通して、一人一人の能力・可能性を最大限に伸ばす教育を目指します。

2 社会総がかりで取り組む教育の推進

(1) 学校と家庭・地域の連携・協働による教育の推進

学校においては、急速に変化する社会情勢を踏まえ、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開し、持続可能な社会の創り手を育成します。そのために、学校・家庭・地域等がそれぞれの役割を認識し、連携・協働して地域に開かれた信頼される学校づくりを推進し、未来を担う子どもたちの健やかな成長を支援します。

また、学校運営協議会の活性化を図り、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進し、部活動の地域移行、ボランティア活動や自然体験活動等、多様な活動に取り組みます。さらに、青少年の健全育成事業や家庭教育・子育てサポート事業による、家庭・地域の教育力向上を目指します。

(2) 安全・安心な学校づくり

教職員の危機管理意識を高め、学校における危機管理体制を整備するとともに、地域ぐるみで子どもたちを見守る体制の強化に努めます。

また、学校施設においては、学校再編整備と長寿命化等により、子どもたちが安全で安心して学べる教育環境を確保します。

さらに、防災教育や交通安全・防犯教室などを通じて子どもたちに「自らの命は自ら守る」という意識を育てるとともに、新しい生活様式の定着を図ります。

(3) 学びを支える教育環境の充実

学校園における働き方改革を推進し、教職員が心身両面の健康を維持しながら、教育活動に意欲的に取り組むことができる環境づくりを進め、ひいては教育の質の向上と子どもたちの豊かな成長を「チーム学校」として対応していきます。

また、「GIGAスクール構想の新たなフェーズ」を踏まえ、1人1台端末の持続的な活用、デジタル教材や学習支援ソフトの活用、校務の情報化等、教育の情報化を推進し、ICT環境の整備・充実に努めます。

さらに、学校規模の最適化や新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方をふまえて作成された「坂出市学校再編整備計画」の推進に努めていきます。

3 人生100年時代を見据えた生涯学習・社会教育・生涯スポーツの推進、文化・芸術の振興

(1) 生涯学習・社会教育・生涯スポーツの推進

市民一人一人が生涯にわたって生きがいや幸福感を感じながら学び続けるとともに、身に付けた知識や経験、技術等を地域社会に還元しながら、「人生100年時代」をより豊かに生き抜くことができる機会や環境の創出を図ります。

そのために、市民が仲間とともに自主的な学習やスポーツ活動を展開する上での拠点となる施設を整備したり、活動に必要な情報を利用しやすい形で提供したりし、誰もが学習やスポーツに親しむことができる環境づくりに努めます。

また、新しい活動やつながりが生まれるよう、市民のニーズに応じた講座や教室、現代的・社会的な課題に対応した学習、個人ではできない活動等、多様な学習やスポーツの機会の提供に努めます。

そして、様々な活動を通じて得た学びの成果が「人づくり、つながりづくり、地域づくり」の循環を生み、地域課題の解決や豊かなまちづくりに生かしていけるよう生涯学習や社会教育、生涯スポーツの充実・発展に努めます。

(2) 文化・芸術の振興、文化財の保護

豊かな自然と歴史に育まれた多様な地域文化や伝統芸能などの保存・伝承を支援し、新たな地域文化の創造に取り組むため、図書館、市民ホール、美術館などの文化施設を活用した芸術文化の学びの場や活動成果の発表の機会を提供し、芸術文化の振興を図ります。

また、本市の豊富な文化財は、先人が培ってきた資産であり歴史と文化を理解する上で欠くことができない文化遺産として適切に保存し、市民協働によりその活用を図り、次世代への継承に努めます。